

2022年度 学校法人東北学院 事業計画及び予算について

Ⅰ 事業計画

常任理事(総務担当) 阿部 重樹

2022年度は、「GG Grand Vision 150」の第I期中期計画(2016～2020年度)の実施状況とその点検・評価を踏まえて策定された第II期中期計画(2021～2025年度)の二年目に当たる。本事業計画は、この中期計画の中にある2022年度の単年度計画として策定した。

Ⅱ 予算について

常任理事(財務担当) 鈴木 勇

2022年度の学校法人東北学院の予算は、「東北学院大学キャンパス整備計画(大学アーバンキャンパス計画)」に基づく事業および「GG Grand Vision 150」第II期中期計画(2021～2025年度)並びに「中期財政フレーム第IV期(2022年度～2025年度)の財政指標の達成を念頭に置いた予算編成方針に基づき編成を行った。

【事業活動収支予算書】

《教育活動収支》

教育活動収支については、2022年度補正予算に比べ、約七千二百四十五万円の約百七十六億八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。)

【事業活動収支予算書】 2022年度補正予算に比べ、約七千二百四十五万円の約百七十六億八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。)

特に、本法人の将来を委ねる最も重要な事業である「東北学院大学キャンパス整備計画(大学アーバンキャンパス計画)」において、2022年度はキャンパスの建設工事が完成に向けて大きく進む年度(九月三十日竣工予定)であり、仙台市中心部における本学のプレゼンスを高めることにより、2022年度の各設置学校および諸部署の事業計画を着実に実施する。

と高め、「社会から選ばれた」ための魅力ある大学づくりを、2022年度は「GG Grand Vision 150」の中核的課題として、本学の将来にとって礎となる「東北学院大学キャンパス整備計画(大学アーバンキャンパス計画)」を最重要課題として強力に推進していく。特に五橋キャンパスの供用開始に向けた移転や統合、改編などに不可欠なタスクを、遺漏・遅滞なきよう着実に進める。

【中学校・高等学校部門】 四月からの「共学化」を機に、「未来学力」を育む学校改革の着実な推進に取り組む。建学の精神に立脚した「も」に生きる力を育む、未来志向で生徒中心の学校、を目標として教育効果と教育の向上に努めていく。

【幼稚園部門】 2022年度は、子ども子育て支援新制度による施設型給付幼稚園という新体制の下で、建学の精神に基づき、教育の質の向上とともに魅力ある教育環境を整備する。さらに、出張講座やゼミへの参加など、東北学院大学との連携の強みや特色を活かした教育活動に取り組む。

【特別収支】 特別収支については、2022年度補正予算に比べて約七千三百三十一万円の増と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。)

【資金収支予算書】 資金収支予算書における翌年度繰越支払資金は、2022年度補正予算に比べて約四億五千六百九十九万四千四百七十九円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。)

【収益事業会計予算書】 収益事業会計については、2022年度補正予算に比べて約九億四千四百八十七万四千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。また、教育活動支出計は、2022年度補正予算に比べて約二億一千三百六十二万円の約百八十二億四千四百四十二万八千九百円と見込んだ。これは主に、(常務費等補助金の増と学生生徒等納付金および寄付金などの減の差によるものである。)

【自己資金の確保】 および自己資金の確保は不可欠である。今後とも既存事業を徹底的に見直し、経営資源投入の選択と集中を一層推し進め、「GG Grand Vision 150」を実現するための安定的な財政基盤の確立を推進する所存である。

事業活動収支予算書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

Table with columns: 科目, 2022年度予算, 2021年度補正予算, 差異. Rows include 教育活動収入, 教育活動支出, 特別収入, 特別支出, 経常収支差額, etc.

資金収支予算書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

Table with columns: 科目, 2022年度予算, 2021年度補正予算, 差異. Rows include 収入の部, 支出の部, 収入の部合計, 支出の部合計, etc.